

# 事務事業評価シート

(H.30)No.	1267	(H.29)No.	1267
-----------	------	-----------	------

事務事業名	校区再編推進事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	教育総務室	内匠 勝也	

会計区分	事業コード	467601
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 教育費	事務局費	
項 教育総務費	(小事業名)	
目 事務局費	事務局一般経費	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち
	基本施策	1	生きる力を育む教育の推進
	施策	1	学校教育
重点プロジェクト			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
名張市における教育の機会均等や教育水準の確保、教育の質の向上を図ります。
事業内容
集団活動の中で発達段階に応じたより質の高い教育を行い、健康な心と体を育てることが学校教育の重要な役割です。これにふさわしい学習環境を整えるために、コミュニティ・スクールの設置や、小中一貫教育の導入を視野に入れた学校の規模・配置の適正化に取り組みます。

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)	
	主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後期実施計画の一部見直し</li> <li>・後期実施計画に係る保護者・地域説明会の開催(年4回)</li> <li>・後期実施計画に係る保護者との懇談会(年7回)</li> <li>・地域住民代表等との懇談会(年29回)</li> <li>・後期実施計画の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後期実施計画保護者・地域説明会の開催</li> <li>・保護者との懇談会</li> <li>・地域住民代表等との懇談会</li> <li>・後期実施計画の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後期実施計画の推進</li> </ul>

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		4千円		55千円	55千円	55千円	
内訳(千円)	国・県支出金						
	地方債						
	その他( )						
	一般財源	0	4	0	55	55	55
人工数	職員		0.94人	0.74人	0.74人	0.74人	
	臨時職員等		1.10人	0.60人	0.60人	0.60人	
②概算人件費	0千円	8,936千円	0千円	6,556千円	6,556千円	6,556千円	0千円
①+②総事業費	0千円	8,940千円	0千円	6,611千円	6,611千円	6,611千円	0千円

## 4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
平成29年8月に、名張市立小中学校の規模・配置の適正化後期実施計画の一部見直しを行うとともに、計画の推進に向け、地域説明会・保護者説明会等を開催し周知と意見聴取を行いました。規模・配置の適正化の取組は、保護者や地域の皆様のご理解・合意形成が不可欠であることから、必要な情報共有を行いながら事業を進めていく必要があります。

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(現行)
---	--------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)
国や先進自治体の動向を踏まえたコミュニティ・スクールの設置や小中一貫教育の導入を視野に入れ、「名張市立小中学校の規模・配置の適正化基本方針」並びに「後期実施計画」に基づき、地域や保護者の皆様と情報共有、合意形成を図りながら取組を推進します。また、庁内関係部局との連携を一層図りながら、課題等の整理に傾注します。

6. 事務事業の取組に関する市の計画
第二次名張市子ども教育ビジョン